あかねの集い

第１６５号
平成２９年　６月　１日
発　行　者
社会福祉法人あひるの会 あかね園
〒275-0024
千葉県習志野市茜浜3-4-5
TEL 047-452-2715
http://www.akaneen.com/

「節目」を「チャンス」に

～　変化多き　新年度を迎えて　～

４月初日、多機能型事業では新入生１３名を迎え、過去最多の９５名。そこに就業・生活支援センターの登録者とグループホームの利用者を合わせた、たくさんの利用者を法人全体職員５８名体制で支援に臨みます。
今年はまさしく「変化」の年を象徴する新年度のスタートです。

４月３日　新年度オリエンテーション

これまで３０年間統一してきた園の日課が事業ごとに変更となった事や、新しい外作業班２か所が加わり７か所になった事等、大きな動きがあった他、利用者によっては所属事業や作業班の変更、担当職員が変更になる等、年度始めのオリエンテーションは学校のクラス替えのような緊張と不安とワクワクが入り混じったそれぞれの表情がありました。

“年度の替わり”は利用者や職員にとっての「成長」や「心機一転」を図る上でも、大切な“節目”です。先輩利用者は新利用者に対し、「お兄（姉）さん」的役割を進んで引き受ける人、「新人に負けられるか」と、かつてない集中力で作業に精を出す人、なぜか髪型や服装に気合が入った人（笑）、淡々と変化に順応しようとする人。一人ひとりの心境に変化や刺激があったことは間違いありません。

社会や福祉の業界も大きく変化する中、職員も多様な利用者のニーズに対応すべく、人材育成や業務効率化を目的に人事異動や時間を意識して業務にあたる事等、様々な方策にも着手しています。特に若手職員達は上司や先輩の異動等に伴い四苦八苦している様子も見受けられますが、「昨年度よりも頼られている」「甘えられなくなった」「自分がやらなくては」と口にし、心なしか顔つきが逞しくなり、目を輝かせながら業務にあたっている姿は嬉しくもあり、頼もしい限りです。

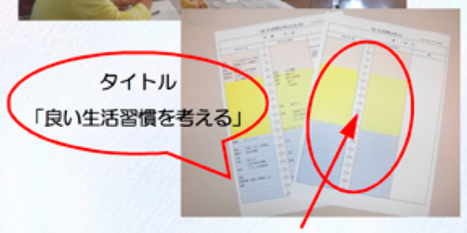
「変化」と言うと保護者からは「不安定になる」とマイナスに受け止められたり、職員も「大変」と思いがちですが、あかね園の新年度は毎年、新しい環境の中で役割が変わったり、周囲の見方が変わることで、これまで超えられなかった自身の壁を乗り越えたり、自覚が芽生えたり、意欲が喚起されたりと、利用者と職員のたくさんの成長がそこにはあります。
地域での生活は様々な変化に対応、順応する力が必要となります。あかね園ではこれからも“節目”を意識し、利用者も職員も共に学び、成長できるチャンスを大切にしていきたいと考えています。　（施設長　松尾）

新しい外作業班
「住商班」

あかね園を支える　保護者の活動

保護者会より
【４月　総会／定例会／研修会】

４月７日、平成２８年度保護者会総会が開催され、全議案が承認されました。
役員構成が変わりましたが、これまで通り協力して保護者会を盛り立てていきます。長年会長を務められた南部さんには保護者一同深く感謝申し上げます。
今年度の活動は、研修とバザーの準備に重点を置きます。研修は年間テーマを「地域で働き、暮らすために必要な事」とし、５月は「生活習慣の確認」を行ないました。（右図は当日配布・作成した資料）
会員の皆さんの継続的な定例会への参加をお願い申し上げます。
（保護者会会長：原田）



タイムテーブルに沿って日課を記入
※左が平日、右が休日

就労者親の会より【４月　総会／定例会】

４月２８日、平成２８年度総会が出席者６４名、委任状６１名（会員１５４名）で開催されました。総会前に職員の紹介がありました。あかね園全体総力で就労者の「働く事」と「暮らす事」の支援をしていきます、と松尾施設長の心強い言葉がありました。
親の会は、バザーや曜日手作り等のボランティア活動と、講演会や定例会での話し合いや施設見学等の研修活動の２本柱で活動してきました。
今年度１１月は北総育成園の施設見学も予定しております。これまで定例会では就労定着の事を話し合ってきました。今年度は将来を見据えての話もしていきたいと思っています。あかね園と支援センターの職員のアドバイスや会員皆様との意見交換を何より大切と考えております。定例会へのご参加よろしくお願い致します。（就労者親の会副会長：佐藤淑）

【今年度の役員紹介】

【就労者を支える職員紹介】

※今回、保護者会と親の会のそれぞれの３役が互いの総会に出席し、連携を密にしました。

友の会より【コンサートのお知らせ】

今年度、２７回目となるコンサートは、友の会設立３０周年という節目の回になります。これまで、広く皆様に楽しんでいただきたいという思いを込めてやってまいりました。
今回は、千葉交響楽団とバレエのコラボという記念に相応しい内容です。第一部は演奏のみ、マリンバも入り楽しい曲を千葉響の演奏で踊ります。
友の会コンサートはあかね園の行事の一つでもありますので、皆様のご協力と多くの方のご来場をお待ちしております。ロビーではあかねグッズの販売もあります。チケットをまだ購入されていない方は、お申し込みの程よろしくお願い致します。
（友の会：中内）

「友の会」３０周年記念コンサート
バレエとクラシックの奏で

2017年6月16日（金）
18:30開演　18:00開場
於　船橋市民文化ホール
全席自由席　2,000円

お問合せ　あひるの会「友の会」
０４７－４５２－２７１５

特集　生活実習

地域で働き、暮らす基となる“生活するカ”。その支援の取り組みが「生活実習」というかたちになりました。
そして、それはあかね園設立１年目“食べること”から始まりました・・・

食事の用意

「お昼ごはんを用意しなくてはいけないから
家を留守に出来ない…」

きっかけは、そんな母親の一言から。
「一食ぐらいは自分で何とかできるようにしなくては」と、あかね園の“生活実習”はここからはじまりました。
お湯を沸かしカップラーメンに挑戦した時代から現在は冷凍食品を電子レンジで調理する、またはコンビニでお弁当を買う等、時代と本人の力に合わせ安全で便利なものを活用しながら、自立度を高める取り組みに挑戦します。

身だしなみ

利用者の変化とともに性別、課題別、目標別と
取り組みの幅が大きく拡がりました

身だしなみに“関心を持つ”鏡を見る習慣から始まった取り組みも、「洗顔」「ヒゲそり」「整髪」「お化粧」と具体的な取り組みに進化し、現在は「夏場の汗処理」や「ムダ毛処理」、「ビジネスマナー（ネクタイの締め方等）」等、身だしなみ講座も多種多様です。

男性は顔パックを初体験

公共のマナー

地域の中で受け入れられる人へ

地域の中で「働き」「暮らし」「楽しむ」ためには、まず第一に公共の場におけるルールやマナーを身につける必要があります。園内外でバスや電車等での公共交通機関でのマナーや周囲の目を意識しての食事のマナー等、学びの機会を多く設けると共に、日頃から職員が駅等に巡回し、実際の場面での指導等も実施しています。

買い物（金銭管理）

お金の大切さを身近に感じて！

「金種の判断」から「お金の使い方」「買い物の仕方」そして「消費生活トラブル（詐欺）の防止」等、お金にまつわる取り組みを幅広く実施しています。キャッシュレスの時代ですが、あかね園では工賃も現金支給し、日頃からお金の大切さを身近に感じてほしく思っています。

ホーム体験利用

「自分の事は自分で考える・行なう」の実践の場

あかね園のモットーの「自分の事は自分で」の意識を高めること、そして「母子分離」を図るために昔は“集団合宿”だった取り組みも現在はグループホームの空き部屋を活用し1週間～1か月程度の長めの期間を設けています。訓練終了時には生活スキルの評価表を通して家庭と園とで課題を共有します。

体　力

１日（企業で）働く為の体力を！

体力向上を目的に日々の「マラソン」や「体力測定」に力を入れていた時代から、興味や楽しみの要素を取り入れた「スポーツジム」の活用や「協調性」「チームワーク」を養う取り組みへ。
心の強さにも体力は大切な要素です。できるだけ若い時に培った体力を維持できるよう取り組んでいます。

健　康

これからもあかね園で長く
働き続ける為の取り組みを

高齢化に向けての準備が必要な方々に、近年は専門家を招き「身体機能の維持、回復」や「ヨガ教室」「歯科指導」等の取り組みの他、楽しみながら身体を動かす事を目的に、パークゴルフやボーリング等の取り組みも定期的に取り入れています。

一日外出

働くことに「意味」と「目的」を！

自分達の働いて得たお金で「こんなおいしいものが！」「こんな楽しいことが！」と、様々な経験、体験を通じ、仕事への意欲や責任に繋げます。近年の外出の企画ではグループで企画し「待ち合わせ」や「個々での料金の支払い」等、実際の休日を想定し、余暇の過ごし方を高める取り組みも
行なっています。

＜　4～5月のあかね園の動き　＞

●4月3日　新年度オリエンテーション　今年度より各事業でタイムスケジュールが2パターンになった為、自立班と継続班は9時から本場にて、移行班は9時30分から第2作業場にてそれぞれ行ないました。新規（事業変更）利用者の紹介や、日課の確認・担当職員について確認しました。
●利用者の動き　今年度は4月から就職者が4名出るという、動きの活発な年度始めとなりました。
●保護者懇談会
5月16日　就労継続支援B型事業：16名参加　事業計画の概要や工賃の説明、充実した生活実習の取り組み報告、作業場見学を行ないました。
5月18日　就労移行支援事業：26名参加　事業の特徴の説明から各作業班の紹介、就職に向けた各種手続き等についてご案内しました。
5月19日　自立訓練事業：9名参加　支援報告や工場見学の後、あかね園の入り口の事業として「地域で働き・暮らすために～あかね園の取り組みが必要なわけ～」という施設長の講演を経て、意見交換を行ないました。

【新職員紹介】4月、あかね園には3名の新職員が入りました。

●豊田青波
新人ですが、持ち前の明るさで頑張りたいと思います。利用者と共に歩みながら、一人ひとりに合った支援を見つけていきたいです。

●近藤行介
前職はジョブコーチをしていました。一人ひとりの目標に合わせ、様々な視点から見た支援をしていければと考えています。

●小野珠実
以前は療育センターで相談担当をしていました。利用者一人ひとりに合った支援を考えていけるよう、明るく元気に頑張りたいと思います。